

写真・動画を投稿する際の注意点

埼玉県教育委員会

SNSなどのサービスには、日々さまざまな写真や動画が投稿されています。みなさんの中にも、自分で撮影した写真や動画を頻繁に投稿している人がいるのではないのでしょうか。しかし、インターネットに投稿される写真や動画の中には、問題のあるものも少なくありません。

インターネット上でよく見かける、問題のある写真・動画

インターネットに投稿される、問題のある写真や動画とはどのようなものなのか、例を紹介します。

・ 所在地の写真や動画

友だちと遊びにいったときなどに、「今〇〇にいる」という記載と共に、今いる場所で撮影した写真を投稿したり、そのときの状況を撮影した動画をリアルタイムで投稿したりするケースがあります。こうした写真や動画を投稿すると、投稿を見た人から居場所を特定され、会いにこられてしまうことがあります。



遊びにいった記念に撮影した写真や動画を投稿したいときは、リアルタイムではなく後から投稿するようにしましょう。

・ 他者が写り込んだ写真や動画

背景に、顔がはっきりとわかる状態で他者が写り込んだ写真や動画が投稿されることがあります。対象の人物がこうした投稿を目にすると、トラブルに発展する可能性があります。



外で撮影するときは、他者の写り込みに注意しましょう。他者が写りこんでしまった写真や動画をどうしても投稿したいときは、個人が判別できないように加工してください。

・ 撮影禁止場所で撮影した写真や動画

撮影が禁止されているコンサートのステージや、上映中の映画館のスクリーンなどを撮影した写真や動画が投稿されることがあります。こうした投稿をすると、犯罪行為に当たることもあります。



イベントに参加するときや、施設に入るときは、撮影禁止になっていないか、事前に確認しましょう。

- ・ その他にも、テレビ番組を録画したものなどの著作権の侵害となりうる写真・動画や、公共の場で迷惑行為をしているものなどの不適切な行為に関する写真・動画などがよく投稿されています。
- ・ インターネットに投稿された写真や動画は簡単に保存できます。自分が投稿した写真や動画を、まったく面識のない人が保存する可能性があるということを頭に入れておきましょう。



インターネットに投稿する前に、その写真や動画が問題のあるものではないか確認し、誰に見られても大丈夫なもの以外は投稿しないように注意しましょう。